

# 平成21年度の主な事業内容と 収支決算の概要を報告します

本会は、厚生労働省の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」報告書にみられるように、公的サービスによる支援の限界が確認されるとともに、改めて地域福祉の重要性が求められています。

そこで本会では、住民主体の理念に基づき、地域福祉の課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現を目指すとして、社会福祉協議会の基本要項を推進してきました。

国、県、市の厳しい財政状況の中、コミュニティワーク機能や小地域での細やかなサービスの低下が危惧されているなか、本会は、行政、団体、住民等の間で潤滑油としての役割が一層求められることを強く自覚し、組織体制の再編に努め、市民福祉の向上に取り組んできました。

平成二十一年度の事業運営に当たっては、市社協としての一体感の醸成と、全体の発展に重点を置き、

福祉関係団体等との連携を一層密にしながら、「互助」「共助」を基調とする福祉コミュニティの醸成に努め、時代背景に即した望ましい「福祉のまちづくり」の構築を目指して諸事業の推進に努めてきました。

## ☆相談活動

### ■心配ごと相談所の運営

各相談室において一般相談、法律相談、介護相談のほか、電話による相談対応をはじめ、総合福祉センター等の機能を活かした福祉ニーズの的確な把握に努めました。

#### ◇大洲本所（毎週）

一般相談（月・水曜日）  
法律相談（火・木曜日）  
介護相談（金曜日）

#### ◇長浜支所（月1回）

第4金曜日

#### ◇肱川支所（月1回）

5日

#### ◇河辺支所（月1回）

10日

相談件数 189件

相談者数 240名

### ■在宅介護支援センターの運営

担当地区民生児童委員、在宅福祉推進員等と連携を図りながら、在宅介護に関する総合相談や各機関とのサービス調整等、在宅での介護の支援に努めました。また、地域に密着した支援センターを目指し、サロン活動や地区行事に積極的に参加し、介護教室等を実施しました。

## ☆介護保険事業の推進

### ■居宅介護支援事業の実施

要介護・要支援状態にある高齢者等に対し、利用者の自己決定権の尊重、自立を目指した介護計画及び介護予防計画（ケアプラン）の作成に努め、サービス事業者の意思統一を図りました。

・月平均利用人数 281名

### ■訪問介護事業の実施

介護予防訪問介護事業の開始に伴い、サービスの質の高い事業所を積極的に評価する視点から、介護福祉士資格取得やヘルパーの活動環境の整備とサービス標準化を行うために、サービスマニユアルの作成及び個別援助計画に沿ったサービスの提供に努めてきました。

・月平均利用人数 207人

### ■訪問入浴介護事業の実施

利用者に満足して頂けるサービス実施のため、サービスマニユアルの作成、さらに、今までサービス利用の少なかった肱川町・河辺町にもサービスエリアを拡げました。

・月平均利用人数 41人

### ■通所介護事業の実施

利用者ができる限り健康で活動的な生活を送るための個別援助計画を作成し、特に介護予防・機能訓練（日常動作訓練）に力を注ぎ、要支援・要介護度の維持・改善に努めました。また、利用者の要望を調査するためアンケートを行いサービス内容の改善に努めました。

### ☆障害者自立支援事業

・月平均利用人数  
延べ 1,366人

#### ■障害者ホームヘルプ活動の推進

障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準に沿った事業を行いました。

・月平均利用人数 27名

#### ■移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者に、社会生活上必要不可欠な外出時の移動を支援しました。

・月平均利用人員 7人

#### ■難病患者等ホームヘルパー ・ビス事業

難病患者に対して、ホームヘルパーを派遣し日常生活を支援しました。

・月平均利用人員 1人

#### ■地域活動支援センター運営事業

障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業の人員、設備及

び運営に関する基準に沿った事業を行いました。

### ☆地域支援事業

・月平均利用人数 111名

#### ■生活管理指導員派遣事業の実施

要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、要支援・要介護状態になることを防ぎ、住み慣れた地域で自立した生活ができるように、日常生活の指導・支援を行い、健全で安らかな生活の確保・援助に努めました。

・月平均利用人数 20名

#### ■高齢者デイサービス運営事業

日頃家に閉じこもりがちな高齢者に対して、デイサービスセンター若宮・東大洲・長浜において各種のサービスを提供し、自立的生活の助長、社会的孤立感の解消及び心身機能の維持向上に努めました。

・月平均利用人数 72名

#### ■外出支援サービス事業

ホームヘルパーが利用者宅と医療

施設との間を送迎し、高齢者・障がい者等の在宅生活を支援しました。

・利用者数 94人

#### ■軽度生活援助事業

日常生活の中で、介護保険のサービスや生活管理指導員派遣事業で対応できない支援を行いました。

・利用者数 7人

#### ■福祉機器の貸出等

介護に係る経費の負担軽減を図り、自立援助のため福祉機器の貸出を行うとともに、独居高齢者等を対象として、緊急の場合の連絡体制を強化しました。

・ギャッチベット・車椅子等

#### ■独居高齢者緊急通報装置

概ね65歳以上の独居高齢者及び高齢者のみの世帯を対象とした緊急通報装置の管理、緊急時の初期対応にあたりました。また、月1回利用者の方に安否確認を行い、日常の状況を把握に努めました。

・安否確認 3,502件

・緊急時の初期対応 64件

#### ■各種資金の活用促進

低所得者、障がい者世帯に対し低利で利用目的にあった資金を貸し付けるとともに、必要な援助指導を行い、その世帯の経済自立と生活意欲の助長促進を図り、安定した生活が営めるように努めました。

・貸付件数 19件

### ☆住民の主體的な福祉活動

#### ■大洲市地域福祉サービス事業の推進

地域の福祉問題を、地域住民同士がお互いに支え合いながら解決を目指す一つの手段としての地域福祉サービス事業を推進しました。

・会員数 659名



◆無線ペンダント PT-501

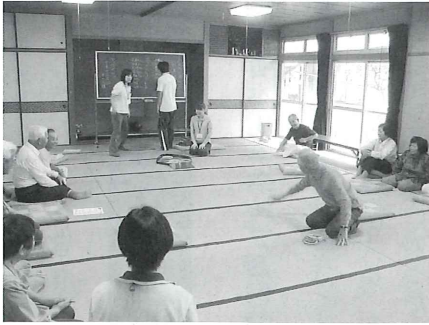


■小地域在宅福祉活動事業の実施

地区社協が実施主体となつて地域ふれあい事業・独居高齢者のこじい・独居高齢者料理教室・在宅介護者のつごい等を開催し、一人暮らし高齢者等の支援活動を行いました。

■ふれあい・いきいきサロン事業の活動支援

閉じこもりがちな高齢者等が身近な集会所において、おしゃべりや体操、ゲーム等を行い、人とのふれあいを通じて、孤独感の解消や社会参加による生きがいづくり等を目的に、地域の住民とともにつくる「ふれあい・いきいきサロン」の支援を行いました。



ふれあい・いきいきサロンの様子

- ・サロン数 109カ所
- ・お世話人交流会 市内8カ所実施

■日常生活自立支援事業

(福祉サービス利用援助事業)  
判断能力に不安のある高齢者や知的障がい者、精神障がい者に対し、介護保険等の利用援助や日常的な金銭管理等、福祉サービスの利用を適切に行うために事業の円滑な実施への協力とPRを行いました。

- ・実施主体 八幡浜市社協

(県社協より委託)

(11月より実施主体)

大洲市社協に移行

- ・専門員 八幡浜市社協 1名

大洲市社協 1名

(調査、契約、支援計画の作成)

- ・生活支援員 7名

(実際の支援、契約内容の履行補助)

☆ボランティア活動推進事業

■ボランティアコーディネーターの活動促進

- ・各ボランティア講座の企画・実施、ボランティア活動の啓発
- ・ボランティア活動の支援・調整
- ・大洲市ボランティア相談窓口開設

■ボランティア活動・マンパワの育成支援

- ◇点字・朗読広報発行事業

【協力】点訳サークル「ひとみ」

朗読サークル「まごころ」

大洲市広報・社協会報誌等の点訳及び朗読テープ作成

◇大洲市ボランティア連絡協議会活動支援

◇その他各種ボランティアイベント等の協力

■ボランティア保険の加入促進

・平成22年3月末加入  
個人保険 1,067名

☆福祉教育・啓発事業

■調査、広報活動の実施

会報「社協だより」発行

■ワークキャンプの実施

市内の福祉施設や保健施設の協力を得て、中高生を対象に3日間のボランティア体験学習を実施し、福祉活動に対する理解の深化に努めました。

☆強化・育成事業

■まごころ銀行運動の推進

まごころ銀行は、地域住民の善意の預託を受けて、それを効率的に社会に還元して地域福祉事業に役立たせることを目的とした制度であり、その啓発推進に努めました。

- ・金銭預託

◇一般預託

21件 612,649円

◇指定預託

143件 5,105,743円

- ・物品預託

7件

■共同募金活動の推進

◇実施期間

10月1日～12月31日

◇実績額 14,778,218円

(内訳)

戸別募金 6,654,635円

法人・大口募金

6,979,182円

学校募金 336,432円

街頭募金 198,025円

職域募金 532,263円

イベント募金 77,681円



# 平成21年度大洲市社会福祉協議会 決算の概要

5月27日に理事会、28日に評議員会を開催し、決算及び事業内容について承認を得ました。

## 資金収支計算書（全体大区分）

（単位：円）

収 入		支 出	
科 目	決 算 額	科 目	決 算 額
会費収入	4,468,200	人件費支出	298,494,675
寄付金収入	5,718,392	事務費支出	24,332,584
経常経費補助金収入	70,522,405	事業費支出	31,983,962
助成金収入	629,870	貸付事業等支出	567,090
受託金収入	22,044,480	共同募金配分金事業費	10,037,766
事業収入	1,003,790	助成金支出	14,888,493
共同募金配分金収入	14,180,371	負担金支出	120,000
介護保険収入	271,426,627	経理区分間繰入金支出	43,866,396
自立支援費等収入	11,645,340	固定資産取得支出	6,343,219
運営費収入	507,700	積立預金積立支出	18,350,642
雑収入	1,671,559	その他の支出	2,034,737
受取利息配当金収入	564,108	当期末支払資金残高	103,327,788
経理区分間繰入金収入	43,866,396		
積立預金取崩収入	94,600		
その他の収入	1,853,351		
前期末支払資金残高	104,150,163		
合 計	554,347,352	合 計	554,347,352

※この計算書は、平成13年度に厚生労働省の指導により導入された、社会福祉法人新会計基準【社協用】に基づいて作成しております。当社協では、上記全体会計を10の経理区分に分け、さらに46の管理区分に細分化し収支の状況を明確に区別し運営しております。

## H21年度 経理区分別資金収支の内訳

（単位：円）

経理区分 項 目	法人運営	委託・助成 事 業	共同募金 配分事業	居宅介護 支援事業	訪問介護 事 業	通所介護 事 業	訪問入浴 介護事業	福祉ボランティア 基金運営事業	まごころ銀行 運 営 事 業	福祉サービス 利用援助事業	総 合 計
経常活動 収 入 計	92,426,986	18,119,018	14,180,371	38,986,374	119,798,567	131,883,595	24,603,454	1,854,516	6,243,097	153,260	448,249,238
施設設備等 収 入 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動等 収 入 計	0	94,600	0	153,576	1,144,535	555,240	0	0	0	0	1,947,951
前期末支払 資 金 残 高	0	0	0	11,508,546	15,641,990	50,891,967	8,785,804	1,638,398	15,683,458	0	104,150,163
合 計	92,426,986	18,213,618	14,180,371	50,648,496	136,585,092	183,330,802	33,389,258	3,492,914	21,926,555	153,260	554,347,352
経常活動 支 出 計	84,091,740	17,274,318	14,180,371	40,635,379	105,311,523	128,607,816	22,782,766	2,610,550	8,643,243	153,260	424,290,966
施設支出等 支 出 計	5,736,720	346,500	0	0	0	259,999	0	0	0	0	6,343,219
財務活動等 支 出 計	2,598,526	592,800	0	308,736	9,861,145	3,083,688	3,940,484	0	0	0	20,385,379
当期末支払 資 金 残 高	0	0	0	9,704,381	21,412,424	51,379,299	6,666,008	882,364	13,283,312	0	103,327,788
合 計	92,426,986	18,213,618	14,180,371	50,648,496	136,585,092	183,330,802	33,389,258	3,492,914	21,926,555	153,260	554,347,352